

高齢化社会のために

また、高齢者を取りまく生活環境は複雑さを増している、高齢者自身がその学習活動を通じて自ら解決すべき課題も山積していく中、このような社会状況に対応するため、老人大学の開設など高齢者の学習機会や場の提供に努めていますが、質量ともにまだ不足しています。このため、高齢者がこれからの社会に生きていくために必要な知識や技術、生きがいを獲得するための学習機会や場の整備、拡充に努める必要があります。

また、これからの高齢化社会に対応するため、健康の保持と体力の低下防止を望む高齢者は増加するものと予想される中、高齢者が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ健康づくりや仲間づくりができるよう、スポーツ機会の拡大や参加意識の啓発に努めるとともに、高齢者がその長年の人生経験のなかで培った豊富な知識や技能を、

また、その担い手となること
が大切であると思います。このため、家庭や地域、関係機関の連携のもとに、高齢者が多様で個性豊かな文化活動に積極的に参加するための意識の高揚をはかるとともに、地域、風土に根ざした創造性豊かな文化的社会環境の醸成に努める必要があります。

また、これからの高齢化社会に対応するため、健康の保持と体力の低下防止を望む高齢者は増加するものと予想される中、高齢者が気軽にスポーツ・レクリエーションに親しむ健康づくりや仲間づくりができるよう、スポーツ機会の拡大や参加意識の啓発に努めるとともに、高齢者がその長年の人生経験のなかで培った豊富な知識や技能を、

また、今後、高齢者が生きがいを求めて様々な地域活動、文化、スポーツ活動に参加する機会が増えてくると思われ、これらの高齢者の諸活動を促進するためには、高齢者がそれぞれの日常生活圏において気軽に参加できる環境を整備

また、今後、高齢者が生きがいを求めて様々な地域活動、文化、スポーツ活動に参加する機会が増えてくると思われ、これらの高齢者の諸活動を促進するためには、高齢者がそれぞれの日常生活圏において気軽に参加できる環境を整備

また、今後、高齢者が生きがいを求めて様々な地域活動、文化、スポーツ活動に参加する機会が増えてくると思われ、これらの高齢者の諸活動を促進するためには、高齢者がそれぞれの日常生活圏において気軽に参加できる環境を整備

また、今後、高齢者が生きがいを求めて様々な地域活動、文化、スポーツ活動に参加する機会が増えてくると思われ、これらの高齢者の諸活動を促進するためには、高齢者がそれぞれの日常生活圏において気軽に参加できる環境を整備

することが大切です。このため、地域の実情を考慮しつつこれらの身近な日常活動の場となる施設の整備に努める必要があります。

③老人福祉の充実
在宅福祉の充実
地域における高齢者の福祉ニーズは急速に進展する高齢化社会に対応するため、行政と近隣地域社会が一体となった活動が不可欠であり、とりわけ地域住民が近隣や地域での助け合いや日頃のつきあいといった活動に積極的に参加できる配慮が必要です。このため、地域における各種団体の育成や組織強化をはかり、多様化するニーズを適切に把握することに努めるとともに、各種団体への積極的な参加を要請し、地域福祉活動の活性化に努める必要があります。

また、要介護老人の適切な在宅処遇を行っていくためには、家庭における家族の介護

石橋京一さん(瀬越)

二世代でくらすような高齢化社会に。老人クラブ仲間が親睦をはかれる施設がほしいですね。



萌寿国敬老会より

市老連スポーツ大会より



陶芸教室より

留萌・増毛両老人大学交流会より

能力には限界があり、これらを補完する多様なニーズに対応した各種在宅福祉サービスが行われなければなりません。高齢者の多くは老後も住み慣れた地域や隣人とともに暮らしていくことを期待していることから、今後の老人福祉施策には、在宅老人の生活を支援するための諸施策を重点にした展開が必要であります。

・福祉施設の整備
要介護老人に対する入所サービスは、特別養護老人ホームなどへの入所というかたちで行われて来ています。このため、居宅において適切な介護を受けることが困難な老人を保護するため老人や家族のニーズに対応できる措置施設の整備に努める必要があります。

また、高齢者のニーズに対応する施策と施設は急速に進展する高齢化社会に向けて整備に努めなければなりません。したがって、高齢者のニーズに有効、適切に対応するため強化が必要であり、これらの施策と施設が総合的、複合的に整備され相互の機能連携に努めることが重要であります。

真の高齢化社会の実現を

このように留萌市では、二十一世紀初頭の本格的な高齢化社会の到来に備え「留萌市高齢化社会対策推進計画」を策定しましたが、高齢化社会に対応する行政上の課題について総合的に調査研究を進めながら第三期留萌市総合計画の基本目標の一つである「健康でやすらぎと思いやりのあるまち」づくりの推進のため高齢者のニーズが増大、多様化する中でニーズを適確に把握し、必要とする施策を推進します。

また、高齢化社会への対応は行政だけでは実現できるものではなく、家庭、地域社会、企業などが高齢化社会の問題を自らの問題として確認して、それぞれが果たす役割を明らかにして実行してこそ、真の高齢化社会に対応できる街になるのではないのでしょうか。高齢化社会は、すぐ貴方の足元にきています。